

科目名	短期海外研修A							年度	2025
英語科目名	Short term study abroad A							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科 スポーツインストラクターコース 1年次	必/選	選※	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	杉浦	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		
【科目の目的】 海外において人体解剖、テーピング、コンディショニングなどの実習を体験し、最新のトレーナー・インストラクター教育についての理解を深めます。									
【科目の概要】 海外において人体解剖、テーピング、コンディショニングなどの実習を体験し、最新のトレーナー教育についての理解を深めます。									
【到達目標】 研修参加前に自分自身の目標を定めます。そのうえでアメリカ本土の各大学やスポーツ施設において様々な経験をします。各自の研修目標を達成できるように挑戦していきましょう。ひとつでも多くの目標を達成して自身を成長させましょう。									
【授業の注意点】 現地コーディネーター、引率教員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないでください。貴重品の管理には注意してください。特にパスポートの紛失がないようにしてください。たくさんの経験をするため過密スケジュールとなります。各自、体調管理の徹底をお願いします。ホテルでの朝食をしっかりと摂りましょう。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	国際的な視野に立ち、異なるスポーツ文化に触れることで、スポーツをより深く理解することができる。		国際的な視野に立ち、異なるスポーツ文化に触れることで、スポーツをある程度、理解することができる。		国際的な視野に立ち、異なるスポーツ文化に触れることで、スポーツを少し理解することができる。				
到達目標 B	最先端のスポーツ現場に触れることで、自らが高い意識をもって高い目標設定ができるようになる。		最先端のスポーツ現場に触れることで、高い目標設定ができるようになる。		最先端のスポーツ現場に触れることで、ある程度の目標設定ができるようになる。				
【教科書】 特になし									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 解剖学実習に向けた事前課題を行います。研修参加にあたり各自で目標設定をして、最終的に各自で自己評価をします。研修中の受講態度や研修に臨む姿勢を評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		短期海外研修 A			年度	2025
英語表記		Short term study abroad A			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	事前研修	事前研修	1 渡航前研修	渡航前の事前研修により、目的、スケジュール、ルール等を理解する	3	
2	オリエンテーション	現地オリエンテーション	1 現地オリエンテーション	現地でのオリエンテーションから、研修における注意事項とスケジュールの確認をします	3	
3	異文化交流	異文化交流	1 国際交流	現地学生との国際交流からスポーツを学ぶ仲間と共に聞く・話す・伝える力を身につけます	3	
4	大学スポーツ施設見学	大学スポーツ施設見学	1 大学施設視察	現地大学内の広大なスポーツ施設を見学することで、最新の施設設備について理解する	3	
5					3	
6	検体解剖学	現地解剖学実習	1 現地解剖学実習	現地での検体による解剖実習により、より高い知識を身につけます。	3	
7					3	
8	スポーツクリニック視察	スポーツクリニック視察	1 スポーツクリニック視察	現地のスポーツクリニックを視察することで、最新のスポーツ医科学的知識を身につけます	3	
9	アスリートのリハビリ	アスリートのリハビリ	1 アスリートのリハビリ	現地におけるアスリートのリハビリテーションの最新事情を把握することでより高い知識を身につけます	3	
10	プロスポーツ施設視察	プロスポーツ施設視察	1 プロスポーツ施設視察	現地プロスポーツの施設を見学することで、最新のプロスポーツ事情についての知識を身につけます	3	
11		プロスポーツ観戦 1	1 プロスポーツ観戦 1	現地プロスポーツチームの試合を観戦します	3	
12	プロスポーツ観戦	プロスポーツ観戦 2	1 プロスポーツ観戦 2	現地プロスポーツチームの試合を観戦します	3	
13	ストレングス&コンディショニング実技	ストレングス&コンディショニング実技	1 ストレングス&コンディショニング実技	現地トレーニング施設において、現地トレーナーからトレーニングを受けることで、より高度な体験をします	2	
14	フィットネス施設視察とパーソナルトレーナー視察	フィットネス施設視察とパーソナルトレーナー視察	1 フィットネス施設視察 パーソナルトレーナー視察	現地フィットネス施設で、最新のパーソナルトレーニングを体験します	3	
15	事後研修	事後研修	1 まとめ 振り返り	帰国後にまとめと振り返りを行い、各自の学びを参加者全員で共有します	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等